

佐藤一斎著、川上正光全訳注「言志四録(四)―全四巻―」講談社学術文庫、講談社 1981年12月10日刊を読む

教育の根本

おし こ か か およ がた か こ おし おしえい やす
教えて之れを化するのは、化及び難きなり。化して之れを教うるは、教入り易きなり。

1. 〔訳文〕 先ず教えて、それから感化しようとしても、容易に感化することはできない。感化しておいて、それから教えると、容易に教え込むことができる。

2. 〔語義〕

- (1) 教—知らないことを告げさとらす。
- (2) 化—聖人が民族を善き方に移しかえる。

3. 〔付記〕

- (1) 本条は一斎先生の名言として採り上げる教育関係者が多い。筆者はもう一段くだいて次のように考えるがどうだろうか。
- (2) 「教えてから、やる気を起こせといっても、効果はない。やる気を起こさせてから、教えれば効果は大いに挙がる。」
- (3) やる気を起こさせるには、至誠至信をもって当たることが第一であろう。

P262

<コメント>

佐藤一斎著、言志四録(全四巻)の最終巻、80歳の時に執筆した「言志^{てつろく}臺録」。四巻の中で最もわかりやすくなる本巻を、座右の書にすることをお勧めいたします。

— 2016年8月10日(水) 林 明夫記 —